

# 花き 花卉の栽培管理について

営農指導課 猪原



## 秋菊電照3月出荷

3月の彼岸出荷については、仕上げの時期となりました。昼間25℃程度、夜間12℃程度で温度を管理し、切花の品質向上を図ってください。出荷は、需要期の3月上中旬にピークとなるよう管理をお願いします。防除は蕾の膜切れ前までに、特に以下の病虫害対策を徹底してください。

- ・白さび・花しみ(灰色カビ病)
- ・アブラムシの混入防止

※消毒の際には薬害に十分注意してください。

## 夏菊の直挿しについて

まず採穂前に親株の防除を行い、揃ったものを採穂します。

- ・挿し穂: 6~7cm程度
- ・定植と同じ間隔で挿し、十分に灌水
- ・葉数3~4枚に調整
- ・葉の表面が乾いたらポリフィルムをべたがけし被覆
- ・発根剤、殺虫剤での浸漬処理

また、2月後半からは、日中高温となるため遮光の準備をしてください。

夏系菊では無側枝性品種が多くなっています。親株での不萌芽が特に心配される品種については、十分に換気を行い、摘芯・採穂後にビーエー液剤の2,000倍処理を2週間の間隔を目安に行ってください。

## 洋花類

気温も上昇し、ハウス内が多湿状態になりやすい時期です。灰色カビ病や菌核病の発生を抑えるため、品目に応じた換気等による十分な温度管理を行い、定期的な殺菌剤による防除に努めてください。



# 園芸 西瓜(交配前~交配期)の管理

営農指導課 境



## 温度管理目安

### ○交配前 (交配前10~7日前より)

- ・午前: 31~33℃/午後: 27~29℃/夜間: 11~13℃

### ○交配期 (交配前2~3日前より)

- ・午前: 29~31℃/午後: 24~26℃/夜間: 15~17℃

\*交配期は午前中の温度・湿度で花粉の発生量が変わります。日の出より20℃を目標に早朝加温(除湿)を行うと葯が乾き早い時間より花粉が発生します。

## 曇天時の着果促進に「フルメット液剤」!

### \*注意点

低温に当たると裂果の恐れがあります。使用の際は、お近くのJA営農指導員へご相談ください。



## ご存知ですか?

### スイカの種に白と黒がある理由



雌花が受粉するとめしべから管が伸びる

管が到達した種は黒く色を変える!

花粉が柱頭に付着し、花粉管が伸び、胚まで到達するまで最低17時間程度かかりますので、交配前後の温度が特に大切です。不親和性の花粉の場合は、花粉管が伸びず、受精できません。



# 畜産 肥育牛の尿結石症

畜産課 新崎



肥育牛における尿結石は、冬から春にかけて発生が多くなる疾病です。これは、尿中に排出されるミネラルなどを含む成分を多く摂取することにより、腎臓内で結石ができやすい環境が整ったときに発生します。

## 尿結石の原因と対策

### ① 飲水量の低下

(原因) 以下のような「水を飲みにくい環境」が重なると、尿中成分の濃度が高まり、結石ができやすくなります。

- ・塩分の摂取不足(固形塩の無配備)
- ・密飼
- ・水槽の不備 など
- ※発生しやすい時期: 3月~5月、11月~12月

(対策) 水を飲める環境づくり(点検・清掃管理)

- ・温水ヒーターを設置して、温水を給与する
- ・寒冷地では早期に熱湯で水槽に張った氷を解かす
- ・固形塩を配備する

### ② 含有ミネラルの偏った飼料の給与

(原因) 結石の主成分であるリン、マグネシウム含有量の多い飼料を給与すると、余分なミネラルが尿中に排出され、結石が形成されやすくなります。

(対策) リン含量などが高いフスマ、米ぬか類の多給の見直し  
・配合飼料のカルシウム(Ca):リン(P)比の適正化(少なくとも1:2以上)

### ③ 過剰な高タンパク質飼料の給与、重曹の連続多給

肥育牛の大型化に伴い、給与するタンパク質の量は増えているものの、過剰なタンパク質給与や重曹の多給は、尿のpHを高めてアルカリ性に傾き、尿石症を誘発する可能性があるため注意が必要です。

### ④ 飼養管理上の不備

(原因) 配合飼料と粗飼料の摂取量のバランスが悪い場合

(例: 粗飼料の摂取量が少なく、配合飼料の摂取量が多い)は、ルーメンアシドーシスが疑われ、飼料中のリンが尿中に大量に排出されることで、結石ができやすくなります。

(対策) ・濃厚飼料と粗飼料の適正な給与  
・塩化アンモニウム製剤の投与  
・固定塩の常備

## 図: 尿石の要因



# 農作業メモ



# 普通作 冬期のは場管理について

農産課 青木



## 良い田んぼとは?

- ☑ 欠株や生育ムラが出にくい
- ☑ 雑草、スクミリンゴガイ、鳥獣類の害がない
- ☑ 透水性が適正
- ☑ 肥料が稲の生育に適正に作用する
- ☑ 生育障害が生じない
- ☑ 環境に負荷をかけない

## 冬期の圃場管理で田んぼの改良を行いましょ

★冬季休耕田の管理のポイント ○均平化、心土破碎等により、ほ場環境を改善

### ■ほ場高低の均平化を行いましょ

目的 …… 生育の均一化、除草剤の効果安定・薬害防止、スクミリンゴガイ食害防止

手段 …… トラクターダンプ(広範囲)、レーザーレベラー(比較的狭い範囲の凹凸)

### ■透水不良田では心土破碎が有効です

目的 …… 土壌透水性の向上による根の生育健全化、中干の効果の向上

手段 …… サブソイラー、カットドレーン等

### ■耕起で、鳥獣害・雑草害・スクミリンゴガイ食害対策を行いましょ

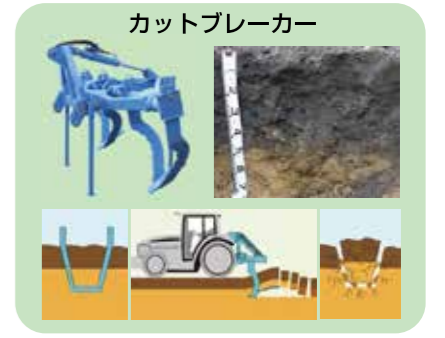
温室効果ガスの一つであるメタンガス削減にもつながります。

目的 …… 水稲残さのすき込み(鳥獣害対策、腐熟促進、メタン削減)、雑草対策、スクミリンゴガイの密度低減

手段 …… プラウ反転耕、ロータリー耕(スクミリンゴガイ対策は1月下~2月上旬に2回程度実施)

★水稲作付前の管理のポイント ○元肥えの施用はできるだけ代掻き直前に行う

- 施肥が早すぎると、
- × 基肥えが溶脱し、水稲の生育が不良となるほか、環境への付加が高まる
- × 肥料成分の溶出が早まり、登熟・充実が不良となる



# 果樹 3月の果樹園管理

営農指導課 藤本



## 防除・栽培管理

品目	栽培管理	農薬・肥料	収穫前日数	倍数	対象病害虫・目的
みかん	剪定を行う際は、厳寒期を避けて剪定を行いましょ。枯れ込みの発生や、樹勢低下の原因になります。 ・着果が多かった樹は混み枝を間引き程度の剪定。着花を確認した後、間引き主体の剪定を実施しましょ。 ・着果が少なかった樹は切り返しを主体とし、樹高を切り下げるなど、新梢の発生を促しましょ。 ・ICボルドーは発芽後散布すると薬害が発生するので、発芽後は、コサイド3000 2,000倍にクレフノン 200倍を混用して使用してください。	ICボルドー66D(発芽前)		50倍	かいう病
		アブロード水和剤	14日	1,000倍	カイガラムシ類
		アピオンE			1,000倍
デコボン	この時期は日中と夜間の温度差を10~12℃を目安に調整。温度差が小さいと扁平果に、大きいと腰高果になるため、温度管理には十分注意が必要です。 着花が少ない場合・シベリン液剤25~50ppm(満開期~満開10日後迄)を使用し、花留めを行ってください。	アトマイヤーフロアブル	14日	4,000倍	アブラムシ類
		フロンサイドSC	30日	2,000倍	灰色カビ病
		ナリアWDG	14日	2,000倍	灰色カビ病
梨	主枝、亜主枝の先端や、予備枝など強い新梢を発生させたい部分、果実の着果位置として好ましくない上向き、下向き、基部の弱い花芽の摘蕾を行いましょ。	クレフノン		200倍	花カス落とし
		キノンドーフロアブル	3日	1,000倍	黒星病
		デランフロアブル	60日	1,000倍	黒星病
桃	満開15日頃から摘果開始。最終着果量の2倍まで摘果。以降、強い摘果を急激に行くと核割れや奇形果が多くなるため注意が必要です。	ダニトロンフロアブル	14日	2,000倍	ニセナシサビダニ
		ロブラール水和剤	前日	1,000倍	灰星病
		ウララDF	14日	4,000倍	アブラムシ類
葡萄	・種あり: 結実の確保を優先させるため、養分を分散させ樹全体をやや弱めの新梢で揃えましょ。 ・種なし: 結実不良の心配がないため、やや強めの新梢が揃うようにしましょ。	チオノックフロアブル	7日	500倍	せん孔細菌病
		アブロード水和剤	14日	1,000倍	カイガラムシ類幼虫